

事務事業名	地域道路愛護支援事業				担当	建設部 建設課 管理係			
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	道路ネットワークの整備				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰延（開始年度 平成21年度～）			
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	1一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	地域における道路及びその周辺の生活環境を保全するとともに道路に対する愛護精神を培い、安全で住み良い地域社会を実現するための事業を支援する。 【助成金の対象となる作業】 ・道路の清掃や路肩法面の除草作業 ・歩道植樹帯（ます）の除草作業 ・道路側溝や水路の清掃作業（農業用排水路は除く） ・道路に張り出した樹木の剪定やコサ刈り作業など、地域住民が実施する道路愛護活動 【助成金の内容】茶菓子代として200円/人以内、機械使用料500円/台（燃料代込）、消耗品（ゴミを入れる袋代、紐等）1,000円/回以内 なお、助成金対象の作業は、年2回を限度とする。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 区からの交付申請に対し、内容を審査し交付決定、実績報告書の審査を行い交付金を支払う。 2年度計画 平成31年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 事業申請区 区 60 61 65 67 67 イ 事業実施区 区 60 60 63 67 ウ エ オ
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市内全区	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 区の数 区 134 134 134 134 134 イ ウ エ オ
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域における道路及びその周辺の生活環境を保全するとともに、道路や排水施設に対する愛護精神の高揚を図り、安全で住み良い地域社会を実現するための事業を支援する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 本事業に取り組んでいる区の割合 % 44.8 44.8 47.0 50.0 50.0 イ ウ エ オ
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 快適な道路・生活環境を保全し、安全で住み良い地域社会を実現する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 道路の整備状況が良いと感じている市民の割合 % 61.3 63.9 62.5 60.7 62.7 イ ウ エ オ

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,827	1,815	1,937	1,932	2,171	
	事業費計(A)	千円	1,827	1,815	1,937	1,932	2,171	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	85	85	85	85	85
		人件費計(B)	千円	353	353	354	344	344
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,180	2,168	2,291	2,276	2,515	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	草刈やコサ刈り及び側溝や排水路の清掃等については、職員や業者委託で対応してきたが、今後、益々増加することが予想されることから、限られた予算をより効率的に執行する方策として、平成21年度から「みんなで作る地域づくり事業」のメニューとしてスタートし、平成29年度から「活力ある地域づくり事業」のメニューとして行っている。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成28年度から事業1回当たり、消耗品代円を1,000円以内に、機械使用料500円の適用範囲をチェーンソー・高圧洗浄機・電動バリカン等にも拡充した。参加人数が多い区からの要望に応え、平成29年度から消耗品に参加人数が100人を超えた場合、超えた人数に対し1人10円を加算することとした。また、事業実施区は僅かであるが増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	機械の燃料代を機械使用料と別に交付してほしいと要望が寄せられている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設の維持管理の一部を市民の協力を得て行う事業であり、市民と協働のまちづくりの一環として取り組むもので、「地域で出来ることは地域で」という意識づけが図られ、施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設(道路、側溝、排水路)の維持管理の一部であり公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 「活力ある地域づくり事業」のメニューとして実施するものであり、区が対象となっている。「地域で出来ることは地域で」取り組む意識を醸成し、愛護精神を培うという意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事業実施区が増えれば成果向上が期待できる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止すると道路の管理費が高むとともに、市民に対する道路愛護精神の醸成の機会がなくなり廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、参加者への消耗品代・機械代・飲み物代等であり、人件費的な作業費用は市民の無償ボランティアで実施されており、最小限の事業費であり削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 申請書の受理、審査及び実績報告書の受理、審査等に要する経費であり、最小限の人件費であり削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域の公共施設の維持管理の一部を行ってもらうことに対する助成金である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 区長・町会長と話し合いながら、事業へ参加する区が増えるよう積極的に働きかける。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 活力ある地域づくり事業説明会で、区長・町会長に事業への周知を行うことに加え、区長・町会長会議など他の機会においても、事業の周知・説明を行い、理解を深めていただけるように努めるとともに、より積極的に参加していただけるよう呼びかけていく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							